

これからのまちづくりの指針



上空から見たJR成田駅周辺

市では、現行の総合計画が平成27年度で終了するため、平成28年度からの次期総合計画の策定を進めています。計画策定では、市民の皆さんの意見を反映できるように市民参画を推進しています。

総合計画とは

総合計画とは、市がまちづくりを進めていく上での指針となる中長期的な計画のことです。

市には、福祉や教育、都市整備など、分野ごとに個別の計画もありますが、総合計画はその最上位の重要な計画として位置付けられ、市の将来像とその実現のための施策をとりまとめたものです。

現在、市では平成18～27年度を計画期間とする「成田市新総合計画」に基づき、計画的なまちづくりを推進しています。

次期総合計画の構造と計画期間

次期総合計画の構造は、現行の成田市新総合計画と同様、基本構

想―基本計画―実施計画の3層構造とします。

そして、現行の計画よりも各層の定義・ポイントを明確にするとともに、各層を連動させて、市が目指すまちづくりを効果的に推進するための計画を策定することを目指します(図1)。

また、次期総合計画の計画期間は図2の通りです。

計画策定過程での市民参画

総合計画は市の行政、あるいは地域全体の進路を指し示す羅針盤となります。そこで市民の皆さんをはじめ、市に関わる多くの人たちから意見を聞けるよう、総合計画策定に当たって次の通り市民参画を推進しています。

市民意識調査

無作為に抽出された15歳以上の市民1万人に対して市の施策の満足度と今後力を入れていくべきと考えられる施策などについてアンケート調査を行いました。

NARITAみらい☆カフェ

市民の皆さんに「成田の目指すべき姿」を語り合ってもらおう会議を1月12日、赤坂ふれあいセンターで開催しました。

会議には、無作為に抽出された18歳以上の市民2,000人の中から79人が参加しました。

出された意見は、次期総合計画策定のための貴重な資料として活用されます(3ページ)。

パブリックコメント

次期総合計画の素案ができたなら素案に対しての意見を募集します。パブリックコメントの実施については広報なりたや市ホームページなどでお知らせします。

※くわしくは企画政策課(☎20・1500)へ。

図1 次期総合計画の構造

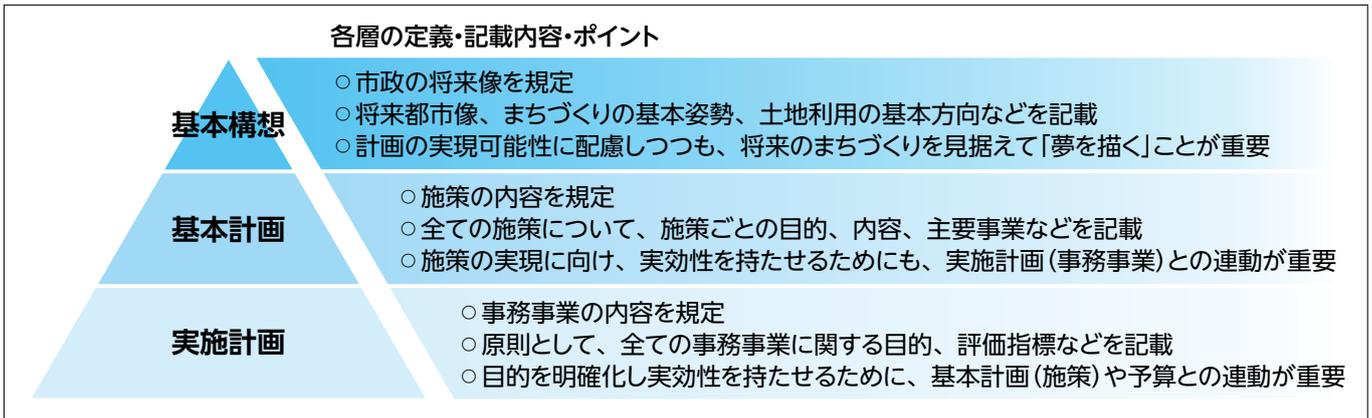
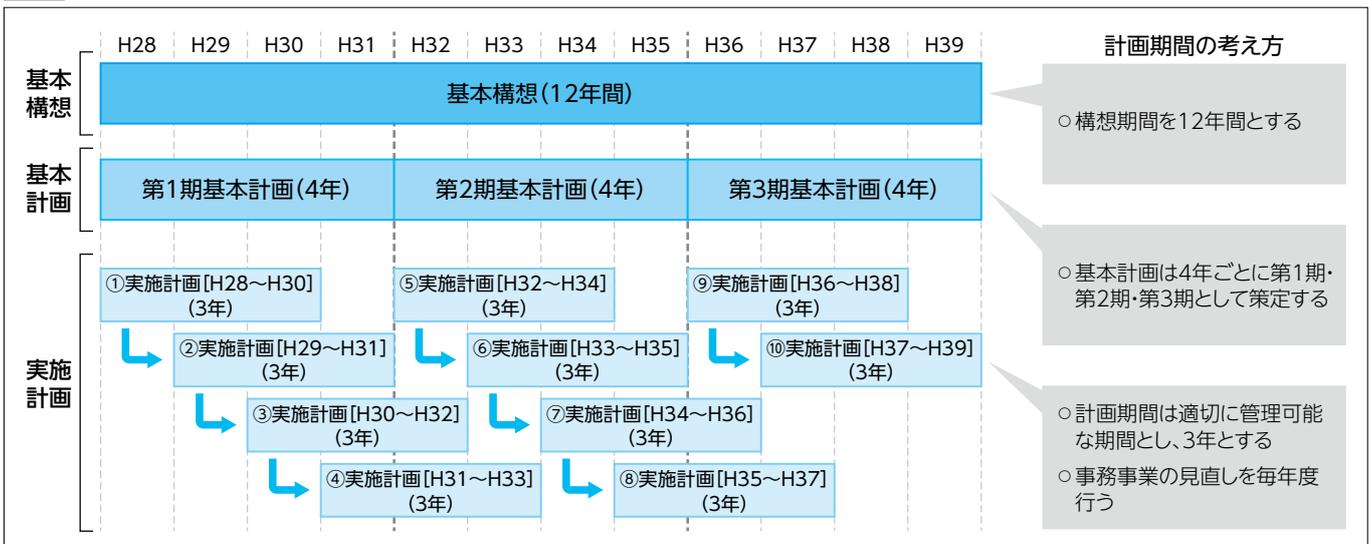


図2 次期総合計画の計画期間



NARITAみらい☆カフェで出された意見

参加者から148件の意見が出されました。分類すると多かったのは「道路・交通・駅周辺(25件)」、「観光(19件)」、「住環境(15件)」に関する意見でした。主な意見は次の通りです。

道路・交通・駅周辺

- 今後の交通網の整備を生かして、国内外を問わず、多様な文化を受け入れられる都市にすることを旨とする
- 特に住宅の少ない地域交通の便をさらに良くし、どこでも気軽に安く行けるまちにする
- 大きなバスではなく、コンパクトな車で近くまで運んでくれるサービスが欲しい
- 駅前広場の充実。成田駅前をバスターミナルとして近隣の交通拠点とする
- 成田駅付近をもっと開発し、にぎやかなまちにしてほしい

観光

- 成田らしい観光を目指す。自然を生かすまち
- 成田山新勝寺と空港の2トップをより生かして観光・商業が充実した都市づくり
- 観光と生活を上手に共存させるまち
- 成田市のPRを強化。成田山新勝寺以外にも人が集まる観光スポットや魅力探し

○ 観光をより発展させ、「成田ブランド」力のあるまち **住環境**

- 国際都市にふさわしい景観の美しいまち(電線の地中化)
- 若い人も老人も一緒に暮らせるまち。みんなが集えるまち
- 市民みんなが満足できるようなまち
- 学生や若者を呼び込むことができるまち(国家戦略特区構想より)
- 自然と人と環境がうまく交わり共存できればよい



グループ内で意見を交わす